

編笠山・西岳 山行報告

【山域】八ヶ岳連峰

【日時】H28.12/16(夜)～12/17

【参加者】CL佐藤 SL狩野 時田 宮城(記録)

【タイム】

12/16(金) 21:00 船橋発～23:45 道の駅こぶちざわ～1:00 就寝

12/17(土) 6:50 富士見高原②～8:00 臼久保小屋～10:00 森林限界～11:00
編笠山山頂～11:30 青年小屋 12:30～14:00 西岳山頂～16:00 富士見高原②

【山行報告】

12/16(金) CL車→宮城車に乗り換えて、船橋を出発。

中央道の渋滞なくコンビニへ立ち寄り、道の駅こぶちざわへ到着すると5～6のテントが張ってあります。

綺麗な星空の下、軽く宴会して就寝しました。

12/17(土) 朝食をのんびり済ませて移動すると、富士見高原の登山者②には車が1台しかいません。

駐車場からの甲斐駒ヶ岳は美しく、周囲のモルゲンロートも素敵なのに人気ないのかなあ。

序盤は全く雪がなく(盃流しは凍ってましたが)、笹の茂る登山道を

針葉樹の落葉を踏みしめながら、Tさん先頭でサクサク歩きます。

道標がしっかりしているので、林道で迷う心配はありません。

臼久保岩小屋の氷柱を過ぎると風が強まり、雪と氷が混ざったガリガリ道になったので2200M付近でアイゼンを装着しました。

シャクナゲ公園辺りからは雪が深くなってきた為、SLに先頭を交代。少し風が弱まって喜んでいたのも束の間……シーズン初めだからか、人気がないからなのか、トレースないまま森林限界を越えた我々を待っていたのは、阿鼻叫喚の1時間だったのです。

雪量が中途半端な岩稜帯は、踏み抜き・浮石・氷のトラップに加えて風速20M近くの強風がサーカス玉乗りのバランス感を要求します。



気分は、まるで八甲田

有名らしい『頑張って』の看板に最初は癒されるものの、次の看板『あと少し』には、(ああん? 本当かよ!?)
『最後だ、ダッシュ』には、(はあ? 出来るかいつ!!)
と、心の底から悪態をついて、身も心も凍りながら山頂へ。

視界ゼロな写真もそこそこに、近くの樹林帯に逃げ込み青年(冬季)小屋へ向かいます。もちろん、こちらもトレースなし。

ポッコポッコに埋まりながら冬季小屋に転がり込んで、昼食を摂りつつの休憩でやっと生き返る事が出来ました。

冬季小屋から西岳へは、樹林帯にトレースがしっかり付いていたので安心でしたが、ちょっとしたアップダウンが続くので思ったよりも疲れます。が、途中で見える富士山や町の展望がとっても素晴らしく、楽しい行程となりました。

西岳からの下山はなだらかですが長く単調な道の為、皆の口数も少なく淡々と歩きます。

そうして無事に富士見高原[®]へ戻ってきた我々を、甲斐駒ヶ岳が再び美しい姿で迎えてくれたのでした。





まつ毛もメガネも凍る
編笠山山頂

西岳山頂にて
PPAP



